

別添

令和6年度自動車騒音常時監視調査評価委託業務仕様書

1 事業目的

県内の道路交通騒音対策の必要性や効果を把握し、沿道環境の整備や低騒音舗装などの適切かつ効果的な実施を推進するための基礎資料を得るため、「道路に面する地域」の環境騒音の実態把握を行うとともに、環境基準に基づく統一的な評価を行う。

2 委託期間

契約締結日から令和7年2月25日（火）まで

3 準拠する法令等

本業務は、この仕様書によるほか、下記の関係法令等に基づいて行うものとする。

- (1) 環境基本法（平成5年法律第91号）
- (2) 騒音規制法（昭和43年法律第98号）
- (3) 騒音に係る環境基準（平成10年9月30日環境庁告示第64号）
- (4) 「騒音規制法第18条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」（平成23年9月14日付け環水大自第110914001号）
- (5) 騒音に係る環境基準の評価マニュアル（平成27年10月環境省）（以下、「評価マニュアル」という。）
- (6) 自動車騒音常時監視マニュアル（平成27年10月環境省）
- (7) その他関係法令等

4 事業（委託業務）内容

(1) 評価区間

別表に示す路線のうち、騒音環境基準類型指定地域を含む延長概ね2kmの区間

(2) 騒音等現況調査

ア 調査区間

「4 (1) 評価区間」のとおり

イ 騒音計設置場所

(7) 沿道地点

原則として、道路敷地境界（官民境界）、地上1.2メートルの高さにて、
1地点測定

(4) 背後地

原則として、道路敷地境界から20メートル地点、地上1.2メートルの高さに
て、1地点測定

ウ 調査日

平日（降雨日及び強風日、休祝日前後日等は避ける）

エ 調査回数及び測定時間

(7) 沿道地点

年1回／地点、24時間測定／地点

(4) 背後地

昼間（6:00～22:00）・夜間（22:00～6:00）各2回、各10分間調査
（沿道地点の騒音測定と同時に実施すること。）

オ 調査項目

(7) 騒音測定項目

等価騒音レベル（ L_{Aeq} ）

時間率騒音レベル（ L_{A5} 、 L_{A10} 、 L_{A50} 、 L_{A90} 、 L_{A95} 、 $L_{A, Fmax}$ ）

(4) 上下車線別・車種別交通量

昼間、夜間各2回、10分間調査。車種は、大型車Ⅰ、大型車Ⅱ、小型車、二
輪車に区分すること。

(4) 上下車線別平均走行速度

昼間・夜間各2回、10台程度

(4) 騒音測定位置

A 沿道地点の騒音測定地点から、車道端、道路敷地境界、住居等までの距離、
車道面からの高さ

B 背後地の騒音測定地点から、道路敷地境界までの距離、車道面からの高さ

(3) 道路状況調査

ア 調査地点

「4 (2) 騒音等現況調査」における沿道地点

イ 調査内容

- (7) 道路構造、車線数、幅員
- (4) 舗装種別
- (7) 縦断勾配
- (1) 遮音壁設置状況等
- (7) その他（交通規制の状況、信号交差点との距離等）

(4) 沿道状況調査

ア 調査区間

「4 (1) 評価区間」のとおり

イ 調査内容

道路の敷地の境界線から50メートルの範囲において、街区を設定し、街区内に立地する建物等の状況を調査

- (7) 建物用途（独立住宅、集合住宅、併用住宅、学校・病院等、その他非住居系）
- (4) 建物構造（コンクリート造り／その他）
- (7) 住居等戸数（必要に応じ階数・建築面積）
- (1) 建物の位置の環境基準に係る地域の類型・都市計画用途地域
- (7) 道路との位置関係（建物が属する距離帯及び距離帯別住居等戸数）

(5) 評価

(2)の騒音等現況調査及び(4)の沿道状況調査の結果から、評価マニュアルの道路に面する地域編に従って、設定した街区内の騒音レベルの推計を行い、建物ごとの騒音レベル別住居等戸数から、評価区間内の環境基準を超過する住居等戸数及び割合を算出する。

なお、各評価区間の環境基準達成状況を、住居区分により環境基準類型別、時間帯別、近接・非近接空間別に区分した集計も行う。

5 成果物

受託者は委託業務終了後、次の事項を内容に含む実績報告書を1部作成し、委託者に提出しなければならない。

- (1) 調査表1～5（県様式）
- (2) 報告様式1～3（環境省指定様式）
- (3) 詳細図（平面図、横断図）

ア 平面図と横断図を同一図面に記すこと。

イ A4版とすること。

(ア) 平面図

- ・平面図の縮尺は1：1,500～1：2,500程度とすること。
- ・平面図には、「騒音測定地点」及び「横断図作成面」を示すこと。

(イ) 横断図

- ・平面図上に示した横断図作成面について、平面図の直下に配置すること。
- ・横断図の縮尺は1：500～1：1,000程度にすること。
- ・騒音測定地点（基準点）と、測定対象となる道路の構造（横断図）を寸法と共に示すこと。
- ・受音点の高さも併せて示すこと。

(4) 位置図（騒音測定地点、評価区間）

ア 「騒音測定地点」と「評価区間」の位置は、同一図面に記すこと。

イ 縮尺は、1：50,000とし、A4版とすること。

ウ 「騒音測定地点」と、それに対応する様式2-1「1.騒音測定地点番号」を記すこと。

エ 「評価区間」と、それに対応する様式1-1「4.評価区間番号」を記すこと。

(5) 評価区間別建物位置図

縮尺は、500分の1～2,500分の1程度とし、評価区間ごとの街区番号及び建物番号を記入すること。

(6) 評価区間別、環境基準達成図

縮尺は、500分の1～2,500分の1程度とし、住居等・その他非住居系の別、環境基準達成・非達成の別、近接・非近接空間の別を記入すること。

(7) GISデータ

騒音測定地点、評価区間を示す位置図をGISデータファイルとして作成したもの。
 (ファイル種類(ArcView/Shape)で作成されたGISデータを収めたCD-RW)

(8) 備考

- ・(2)の様式については、別途配布する。
- ・すべての成果物は、CD-Rに収め実績報告書と併せて提出すること。
- ・環境省が指定する結果報告様式及び報告要領等が変更された場合は、最新の様式及び報告要領等により作成すること。

6 貸与する資料

本業務の遂行に当たり、発注者は受注者に以下の資料を貸与するものとする。

- (1) 住宅地図 (Zmap-TOWN II) (株式会社ゼンリン)
- (2) 令和5年度 自動車騒音常時監視業務成果

(別表)

1 騒音観測路線 (1 区間、1 町) ※1

種別	道路名称	交通量 観測地点地名	単位区間 番号	自動車類 交通量	車線数
県道	県道 22 号線	松前町北川原 9 4 4 番 1	40590	14798	2 ※2

※1 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査参照 (国土交通省道路局)

<https://www1.mlit.go.jp/road/census/r3/index.html>

※2 一部1車線区間あり

2 委託業務内容

評価区間の種別	騒音等 現況調査	道路状況 調査	沿道状況 調査	評価
騒音観測区間 (1 区間)	○	○	○	○

道路交通騒音実態調査・調査表 1～5 (調査表の記入方法について)

(1) このファイルについて

- ① 調査結果はこのWorkBookをテンプレートとして利用し、1地点の調査結果を入力してください。
入力後1地点毎にファイル名を変えて（例えば“調査地点#.xls” #は1～地点数）別名保存してください。
- ② このWorkBookには以下の6つのWorkSheetがあります。

「調査表の記入について」	: 本シートです。
「調査表 1 調査地点の概要」	: 調査地点名、所在地、道路条件等を記入します。
「調査表 2 騒音測定結果」	: 連続測定結果を処理し10分間毎のLeq, Lxを出力した結果を入力します。
「調査表 3 平均走行速度集計結果」	: 一定の距離を定め走行速度を調査した結果（1台ごとの秒数）を入力し平均速度を計算します。
「調査表 4 評価区間内建物状況」	: 建物ごとに、住居等戸数及び建物面積等を記入します。
「調査表 5 建物ごとの騒音レベル別住居等戸数（昼間）」	: 建物ごとに、昼間の時間帯の騒音レベル別住居等戸数等を記入します。
「調査表 5 建物ごとの騒音レベル別住居等戸数（夜間）」	: 建物ごとに、夜間の時間帯の騒音レベル別住居等戸数等を記入します。
- ③ 各シートには、計算式が設定されているものがあり、基準時間帯Leq等が自動的に計算されるようになっています。
このため、行、列、セルの削除・挿入等によるシートのレイアウトの変更は原則として行わないでください。
- ④ 各シートとも、原則として「保護」をかけてあります。修正する場合は保護を解除してください（パスワード無し）。
- ⑤ 各シートとも「印刷範囲の指定」等はしてありますが、印刷が乱れるときはプリンター環境を再設定してください。

(2) 調査表について（調査表および調査項目の細かい注については各表にもあります。）

① 調査表 1

- ・ 調査地点の属性、道路条件等に関わる項目を入力してください。選択肢のあるものは数字で入力します。

② 調査表 2

- ・ 各時間毎および基準時間帯平均騒音レベルは、除外すべきデータを除いて自動的に計算されます。
操作環境によりうまく計算されない場合はデータ部（色のついていないところ）のみ入力してください。
手で計算する必要はありません。
- ・ 調査表は1時間を6分割（10分間）した場合を想定して作成しています。

調査表 1 調査地点の概要

(以下の [] に入力して下さい。)

(項目に対する注)

調査機関名: [] (C列に入力)	(H列に入力) 担当者名: [] Tel: [] Fax: [] e-mail: []	
単位区間番号: []		← ない場合はブランク
調査地点番号: []		
調査地点所在地: [] (C列に入力)		← ○○町○丁目○番地地先等
調査対象道路名: [] (C列に入力)		← 全国道路・街路交通情勢調査で用いている名称
評価区間内の各街区の環境基準類型区分: (当てはまるもの全て○を記入)	A 類型: [] B 類型: [] C 類型: [] 近接空間: []	車線数: []
道路種別: []	1; 国土開発幹線自動車道等 (高速自動車国道)、2; 都市高速道路、 3; 一般国道、4; 都道府県道、5; 4車線以上の市町村道、6; その他の道路	
道路構造条件: 道路構造 []	1; 平坦、2; 高架、3; 盛土、4; 掘削、5; その他	(I列に入力) [] ← その他複断面の場合は1、4のように記入
縦断勾配 [] %	(手前側車線の自動車進行方向で上りであれば+、下りは-)	
舗装種別 []	1; 通常アスファルト、2; コンクリート、 3; 排水性 (低騒音) 舗装、4; その他 []	← その他はすべり止め舗装等 (I列に入力)
横断構成	測定断面図を別添 ・路肩、車道、中央帯及び歩道等の各幅員を0.1m単位で記入。 ・官民境界から測定点(0m, 20m)までの距離、路面から測定点地盤面の高さ。 測定点地盤面からマイクロホンの高さを記入。 ・測定点背面に建物等がある場合は、その建物壁面までの距離を記入。 (反射音の影響判定)	
地表面性状: []	1: コンクリート、アスファルト、2: 表面の固い地面、3: 芝地、田圃、草地 4: 表面の柔らかい畑地、耕田	← 道路から20m地点までの主たる地表面性状
測定地点平面図:	測定地点周辺の平面図を別添 ・測線周辺の建物の階数、構造を図中に記入。 ・その他ブロック塀等測定点に対して音響的な障害物となる構造物の配置を図中に記入。	
測定日時:	[] 月 [] 日 [] 時 ~ [] 月 [] 日 [] 時	
遮音壁の有無:	[] 0; 遮音壁、環境施設帯なし、1; 遮音壁のみあり、3; 環境施設帯のみあり、 4; 遮音壁、環境施設帯あり	
測定機器の構成:	[] 1; 騒音計単体+表示部読み取り 2; 騒音計単体+専用プリンター出力 3; 騒音計単体+データ転送(パソコン処理) 4; 騒音計+レベル処理機+専用プリンター出力 5; 騒音計+レベル処理機+データ転送(パソコン処理) 6; 騒音計+レベルレコーダー+チャート読み取り 7; 騒音計+レベルレコーダー+データ転送(パソコン処理) 8; その他	← 使用した騒音計、レベルレコーダ、レベル処理器等機器の構成と型番 ← 同上
特記事項: (C列に入力)	① 交通規制の実施状況 (制限速度の規制値、車線規制、大型車規制の有無) ② 信号交差点との距離 (上下車線両側) ③ 周辺状況	

調査表3 平均走行速度集計結果

：計算セル（書込み禁止）

		単位区間番号： 0		調査地点番号： 0											
時間帯	観測時間	平均走行速度観測時間		平均走行速度 (km/時)						平均走行速度観測台数 (台)					
		開始時刻	終了時刻	手前側			反対側			手前側			反対側		
				大型	小型	計	大型	小型	計	大型	小型	計	大型	小型	計
昼間	6~7	:	:							0	0	0	0	0	0
	7~8	:	:							0	0	0	0	0	0
	8~9	:	:							0	0	0	0	0	0
	9~10	:	:							0	0	0	0	0	0
	10~11	:	:							0	0	0	0	0	0
	11~12	:	:							0	0	0	0	0	0
	12~13	:	:							0	0	0	0	0	0
	13~14	:	:							0	0	0	0	0	0
	14~15	:	:							0	0	0	0	0	0
	15~16	:	:							0	0	0	0	0	0
	16~17	:	:							0	0	0	0	0	0
	17~18	:	:							0	0	0	0	0	0
	18~19	:	:							0	0	0	0	0	0
	19~20	:	:							0	0	0	0	0	0
20~21	:	:							0	0	0	0	0	0	
21~22	:	:							0	0	0	0	0	0	
夜間	22~23	:	:							0	0	0	0	0	0
	23~0	:	:							0	0	0	0	0	0
	0~1	:	:							0	0	0	0	0	0
	1~2	:	:							0	0	0	0	0	0
	2~3	:	:							0	0	0	0	0	0
	3~4	:	:							0	0	0	0	0	0
4~5	:	:							0	0	0	0	0	0	
5~6	:	:							0	0	0	0	0	0	

- (注) 1. このシートは、一定の距離を定め、その間の通過時間を測ることで走行速度を測定する方式に対応している。
 2. 本表の右にある観測車輛毎の通過時間入力エリアにデータを入力する（最大20台：測定台数分入力し残りはブランクとする）。
 3. 手前側（付表1-1）と反対側（付表1-2）ともに入力する。
 4. 測定距離は、時間毎に変わることも考慮し各時間毎に入力できる。同じであれば、すべてに同じ値を入れる。
 (Excel195であれば各時間の上段（大型の行）に入力。)
 5. 車種別平均走行速度は、観測台数が4台以上の場合は最大・最小を除いた残りのデータで平均、4台未満は全てで平均した値。
 「計の平均」とは、大型・小型を合わせたデータにより上記平均化を行った値である。
 6. 平均走行速度は、通過時間の平均値を速度換算したものではなく、個々の速度を平均した値であることに注意。
 7. 本シートは保護がかかっているため、データ部以外は入力できない。

付表 1-3. 手前側平均走行速度計算エリア (変更不可)

時間帯	観測時間	車種	手前側																				最大速度	最小速度	平均速度	合計平均	有効台数
			観測車輛別走行速度 (km/時)																								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
昼間	6~7	大型																				0.0	0.0			0	
		小型																					0.0	0.0			0
	7~8	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	8~9	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	9~10	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	10~11	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	11~12	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	12~13	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	13~14	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	14~15	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	15~16	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	16~17	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
17~18	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
18~19	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
19~20	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
20~21	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
21~22	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
夜間	22~23	大型																				0.0	0.0			0	
		小型																				0.0	0.0			0	
	23~0	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	0~1	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	1~2	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	2~3	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	3~4	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	4~5	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
5~6	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	

付表 1-4. 反対側平均走行速度計算エリア (変更不可)

時間帯	観測時間	車種	反対側																				最大速度	最小速度	平均速度	合計平均	有効台数
			観測車輛別走行速度 (km/時)																								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
昼間	6~7	大型																				0.0	0.0			0	
		小型																					0.0	0.0			0
	7~8	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	8~9	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	9~10	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	10~11	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	11~12	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	12~13	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	13~14	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	14~15	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	15~16	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	16~17	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
17~18	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
18~19	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
19~20	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
20~21	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
21~22	大型																					0.0	0.0			0	
	小型																					0.0	0.0			0	
夜間	22~23	大型																				0.0	0.0			0	
		小型																				0.0	0.0			0	
	23~0	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	0~1	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	1~2	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	2~3	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	3~4	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	4~5	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0
	5~6	大型																					0.0	0.0			0
		小型																					0.0	0.0			0

調査表5 建物ごとの騒音レベル別住居等戸数

道路名: _____

(2)夜間騒音レベル

単位区間番号: 0

調査地点番号: 0

街区番号	建物番号	環境基準 ※1	近接空間 住居等戸数 ※2	非近接空間 住居等戸数 ※2	近接空間 騒音レベル別住居等戸数								非近接空間 騒音レベル別住居等戸数						計				
					50dB以下	51dB以上 55dB以下	56dB以上 60dB以下	61dB以上 65dB以下	66dB以上 70dB以下	71dB以上 75dB以下	76dB以上 80dB以下	81dB以上	計	50dB以下	51dB以上 55dB以下	56dB以上 60dB以下	61dB以上 65dB以下	66dB以上 70dB以下		71dB以上 75dB以下	76dB以上 80dB以下	81dB以上	計
合計					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

A類型			B類型			C類型			近接空間		
住居等 戸数	環境基準 達成戸数	環境基準 達成率(%)	住居等 戸数	環境基準 達成戸数	環境基準 達成率(%)	住居等 戸数	環境基準 達成戸数	環境基準 達成率(%)	住居等 戸数	環境基準 達成戸数	環境基準 達成率(%)
0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0

評価区間		
住居等 戸数	環境基準 達成戸数	環境基準 達成率(%)
0	0	0.0

備考 ※1 近接空間=0とし、その他は、A、B、Cのいずれかを記入。
 ※2 調査表4における※5の建物用途の欄が、0になっているものは、含まないこと。また、その欄が4になっているものは、1戸とみなすこと。